

かみかつ 里山倶楽部便り

高丸山千年の森から
おとどけます～



令和
6年度

3月号

2025/3/9 (日)

ウッドセラピー体験

★木の香りに包まれ、磨き、葉っぱのお茶を
いただきながら、癒しの時間を過ごしましょう。

- ・指 導：大塚 康夫 他
(徳島県森林づくりリーダーの会)
- ・定 員：6組
- ・時 間：13時～15時(予定)
- ・参加費：1500円
- ・集 合：千年の森ふれあい館

6種の木の
マグネットを
つくります。



高丸山千年の森ふれあい館のブログも更新中

天候やその他の都合により、内容を変更することがあります。
最新情報は HP 掲載の行事案内をクリックして (PDF 表裏) を参照ください。すべて要予約
※開催時刻の 15 分前にご到着し受付してください。



2025/3/23 (日)

森の恵み 春の薬草体験

★山から里まで、身近にある野草を使って、料理してみましょ。

- ・講 師：渡部 厚子
- ・定 員：10名 (先着順)
- ・時 間：9時～14時半(予定)
- ・参加費：2000円
- ・集 合：千年の森ふれあい館

▲4月の森の学校▲ 3/1(土)より受付開始(先着順)

2025/4/12 (土)

安全登山のための基礎講座①

★地形図の読み方や、コンパスの使い方など、山歩きの
計画から実行までの基本を学びます。

- ・講 師：藤川 敏光
(徳島ロイヤル山岳会)
- ・定 員：15名
- ・時 間：10時～15時(予定)
- ・参加費：1500円
- ・集 合：千年の森ふれあい館

☆冬の高丸山 ブナ林、シモバシラ、ミツマタ、ハンノキ



2025/4/20 (日)

日垂ふるさと振興財団助成活動

ブナ林をシカから守るぞ①

★ブナ林の保護活動。シカ対策に有効な防除ネットの
張り方を体験します。

- ・定 員：10名
- ・時間：9時半～15時半(予定)
- ・参加費：500円
- ・集 合：高丸山駐車場

2025/4/29 (火・祝)

野鳥のさえずりを聞こう

★野鳥の声の「ききなし」や、さまざまな種類の野鳥
の声を聴き分けるポイントを学びましょう。

- ・講師：三ツ井 政夫・高井 正明
(日本野鳥の会 徳島支部)
- ・定 員：15名
- ・時間：9時～14時半(予定)
- ・参加費：500円
- ・集 合：高丸山駐車場



高丸山千年の森 イベント報告



●1月13日(月・祝) 木のおもちゃで遊ぼう

隣接施設の山の楽校主催、上勝町唯一の「どんど焼き」が、ふれあい館前の駐車場で行われました。祝詞のあと、子どもたちも一緒に笑顔の点火式。町内の方々から持ち込まれた正月飾りなどが、天高く炎に包まれました。ふれあい館は、木のおもちゃ遊びができるように開放。町内の子どもたちは積み木や滑り台などで遊んでいました。にぎやかな1日でした。



ふれあい館のスタッフも玉串を奉納しました



子どもたちと木組みに点火



木のおもちゃ遊びの様子

●1月26日(日) 第19回 千年の森セミナー

広葉樹林の価値：30/30ネイチャーポジティブのトレンドについて樵木林業から学ぶ

○第1部「森林域などの自然共生サイトをめぐる最新情報」

講師：小串重治氏 (グリーンフロント研究所・徳島大学)

小串講師からは、気候変動対策の世界の流れや、環境省が行う自然共生サイトに関する紹介がありました。

2030年までに自然の状態変化を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」や、陸と海の30%以上を保護区として保全する「30/30」の目標が、G7サミット(2021年)で決議されました。また、世界の企業や投資家たちは、Environment(環境)、Society(社会)、Governance(企業統治)に配慮した企業に投資するESG投資が主流になっており、投資によってイメージUPや株価等に反映されるメリットがあります。国内では、30/30の目標を達成するために、環境省が「自然共生サイト」を認定。学校のビオトープ等の小規模なものでも条件を満たせば認定可能、などの内容でした。(支援企業や登録地などの詳細は、環境省のHPをご覧ください)

○第2部 「日本農業遺産へ、樵木(こりき)林業から見た県南の広葉樹利用の歴史背景」

講師：網田克明氏 (徳島県木材協同組合連合会 専務理事)

網田講師からは、令和7年1月「日本農業遺産」に認定された、樵木林業について紹介がありました。樵木林業は、県南で300年前から続く、伝統的な林業技法です。県南のシイ・カシ照葉樹林帯には、備長炭の原料になるウバメガシが多く生育しており、こうした樹木を8~12年のサイクルで、若木のうちに択伐し、萌芽更新させる持続的な林業です。備長炭は硬質で火持ちが良く、高級な炭として茶道などで使われており、割木も含めた木材は、江戸時代から地元資本が独占生産・販売。明治・大正期には、大半が銭湯の燃料として阪神地方へ多く海運されていました。木材の搬出は「さで」と呼ばれる搬出路から、木馬(きんま)や河川を使って運搬され、古い写真から当時の活気が伝わってきました。現在、地元企業が樵木林業の施業方法で木を伐り出し、炭焼きを行っています。良質の備長炭は、伝統的林業の支援という付加価値もつけられて、地元は元より県外の企業などにも高値で販売されています。

◇「かみかつ里山倶楽部」は、上勝町で活動する、さまざまな団体と協力して活動します。

- ◇NPO法人郷の元気
- ◇榎もくさん
- ◇ハーモニーライフクラブ旭
- ◇勝浦川若手林業研究会
- ◇かみかつ棚田未来づくり協議会
- ◇榎かみかっつきゅう
- ◇旬環境とまちづくり
- ◇上勝林友会
- ◇勝浦川流域ネットワーク
- ◇上勝自然体験学習研究

【発行】一般社団法人かみかつ里山倶楽部
「徳島県立高丸山千年の森」指定管理者
千年の森ふれあい館
〒771-4502 上勝町大字旭字中村 66-1
TEL 0885-44-6680/FAX 0885-44-6681
E-mail sennennomori@kkcatv.jp
HP <http://www.1000nen.biz-awa.jp/>

千年の森 HP ↓
本誌もご覧ください

